

レベル1

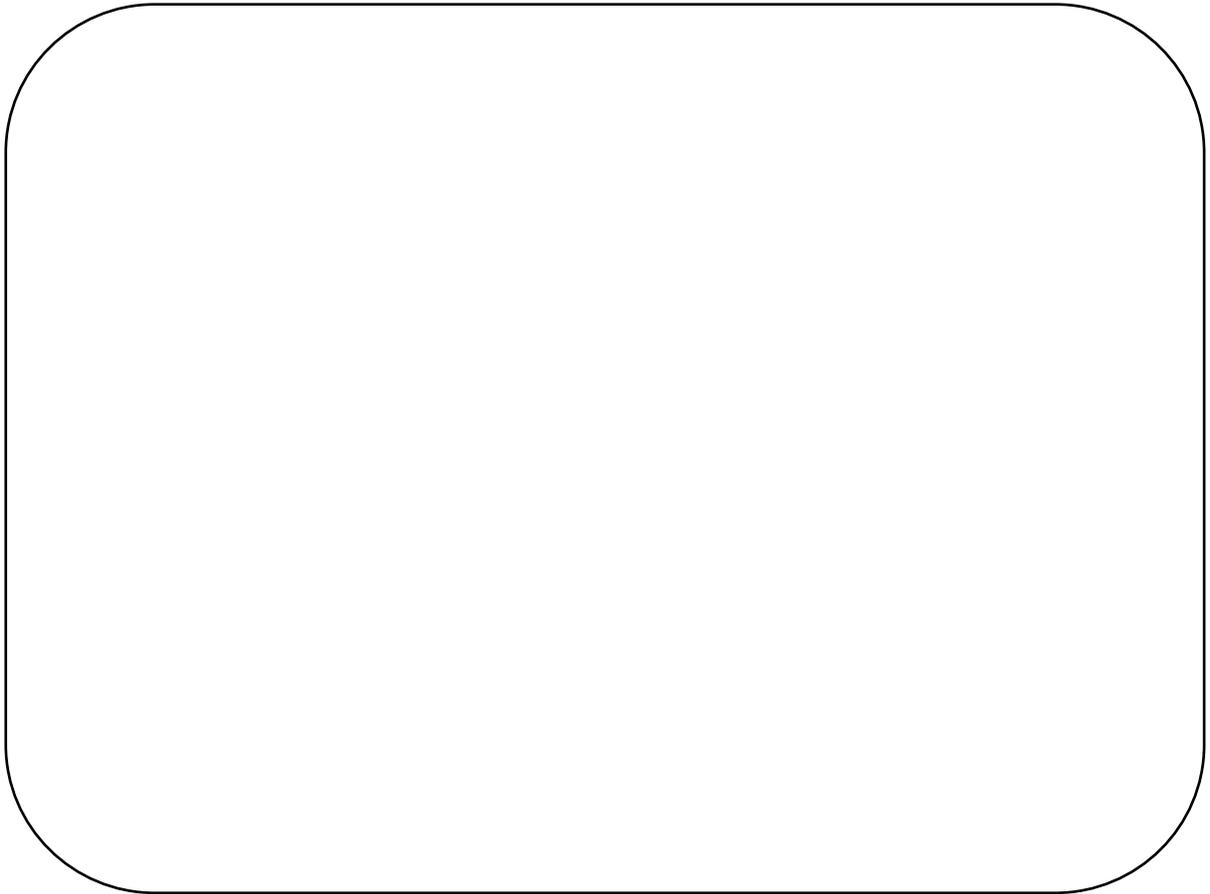
ものがたりのつづきは？

✿この話のつづきをかながえて書いてみよう。

ここはちいさな森のなか。クマの家族がなかよくくらしています。

ある日、お母さんクマがりんごの木を見つけました。

おいしそうなりんごがいっぱいなっています。



おしまい

レベル2

物語の続きは？

✿この話の続きを考えて書いてみよう。

ぼくは朝早く起きて家を出た。

家のまわりを散歩していると前から大きな犬をつれた人が歩いてきた。

ぼくはその犬が大きくて怖かったから、



おしまい

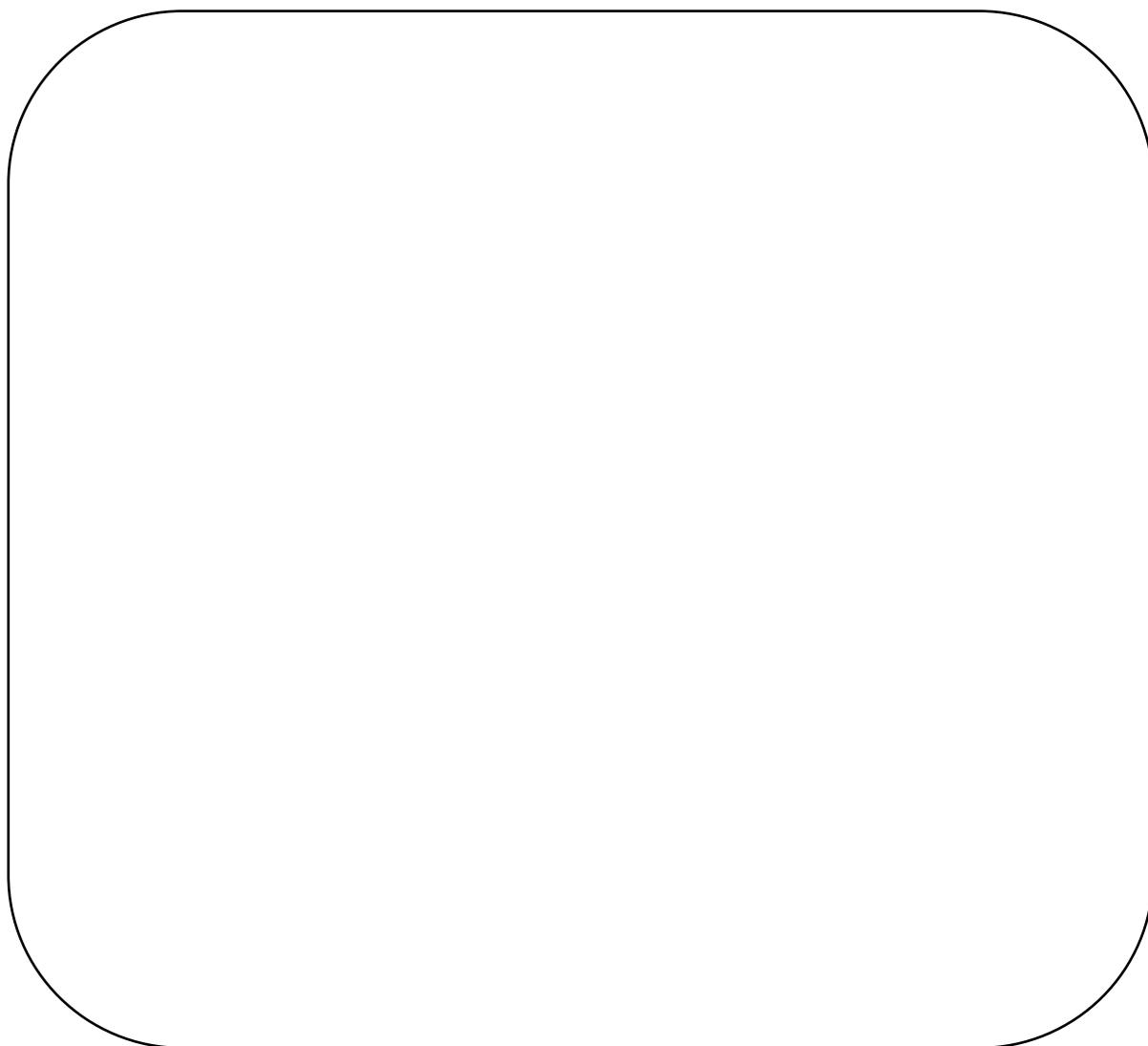
レベル3

物語の続きは？

✿この話の続きを考えて書いてみよう。

ルール：もう1種類、生き物を登場させよう。

朝起きると、ぼくは魚になっていた。家の金魚鉢の中でぐるぐる泳いでいたのだ。



おしまい

レベル4

物語の続きは？

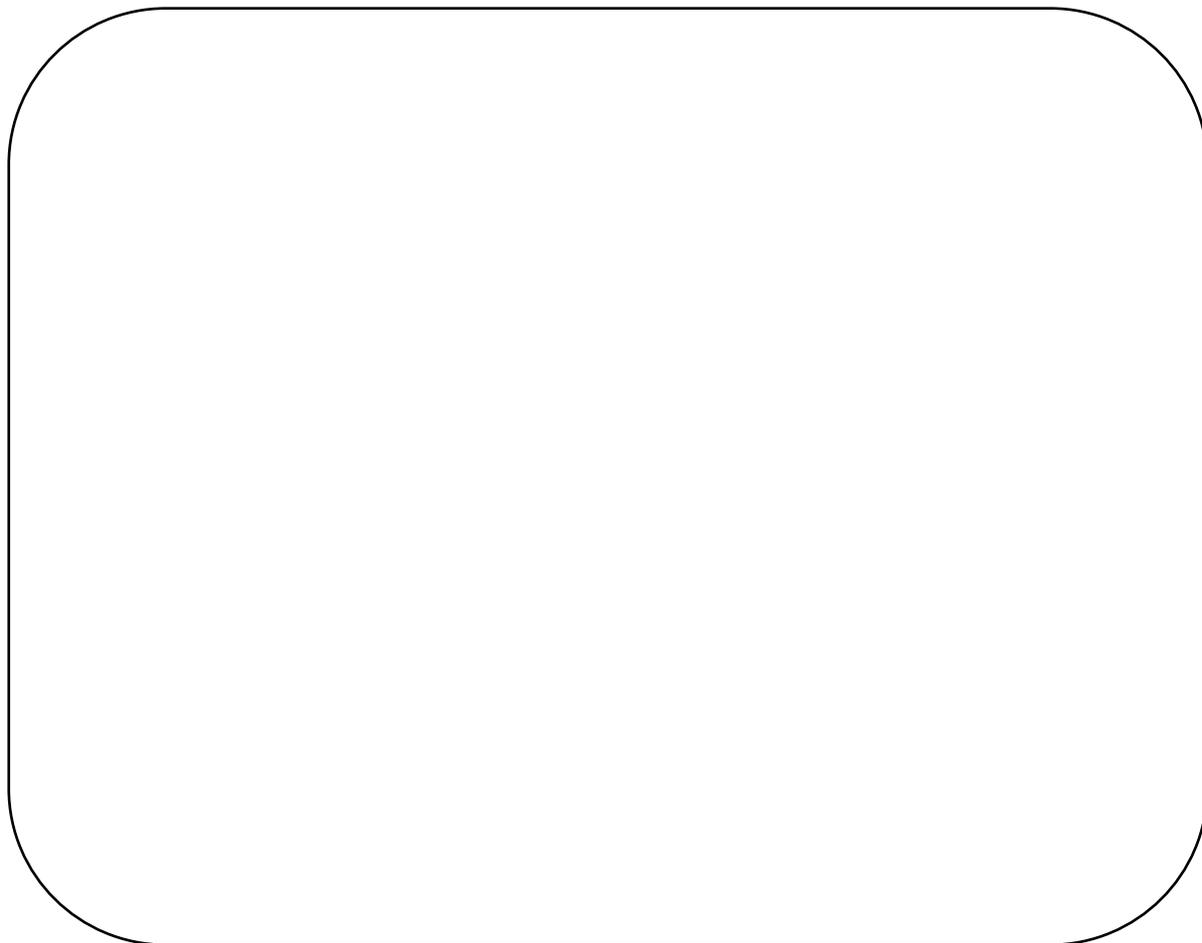
✿この話の続きを考えて書いてみよう。

条件：①あと2人以上、登場人物を増やすこと。

②ハッピーエンドにすること

大事な試験の日、私は大寝坊をしてしまった。大急ぎで支度をしてバスに飛び乗った。

…乗ってから30分後、私は気付いた。乗るバスを間違えたことに。



おしまい

ものがたりのつづきは？

✿この話のつづきをかながえて書いてみよう。

ここはちいさな森のなか。クマの家族がなかよくくらしています。

ある日、お母さんクマがりんごの木を見つけました。

おいしそうなりんごがいっぱいなっています。

お母さんクマは巣にもどって、家族をよびました。

そして、お父さんクマと子どもたちをつれて、みんなでりんごの木へ行きました。

とっても大きな木なので、家族みんなで食べてもなくなっていくらいりんごがあります。

そこで、森のリスさんやウサギさんもよんで、みんなでなかよくりんごを食べました。

あまくてとってもおいしいりんごでした。

★冒頭に登場した「りんごの木」や「お母さんクマ」をその後どう話に使うかがポイントですね

おしまい

物語の続きは？

✿この話の続きを考えて書いてみよう。

ぼくは朝早く起きて家を出た。

家のまわりを散歩していると前から大きな犬をつれた人が歩いてきた。

ぼくはその犬が大きくて怖かったから、

歩いてきた道に戻って遠回りをすることにした。

でも別の道を歩こうとしたら、今度はもっと大きな犬を連れた人が歩いてきた。

ぼくはあわててまた別の道に逃げ込んだ。

今日はなんだかついてない日だなあ。

いつか大人になったら、大きな犬も怖くなくなるといいなあ。

★「怖かったから」の、「から」に注目。

そのあとの行動が、怖い気持ちとつながっていたらベリーグッド。

おしまい

物語の続きは？

✿この話の続きを考えて書いてみよう。

ルール：もう1種類、生き物を登場させよう。

朝起きると、ぼくは魚になっていた。家の金魚鉢の中でぐるぐる泳いでいたのだ。

びっくりしてきょろきょろとあたりを見回すと、同じ金魚鉢の中にいるメダカが話しかけてきた。

「やあ、たけしくん。いつもぼくたちのお世話をしてくれてありがとう。たけしくんとどうしてもおしゃべりしてみたかったから、お星さまに頼んで、たけしくんを魚に変えちゃった」

「え～！もとに戻れるの？」と、ぼくが聞くと、

「今日いちにち一緒に遊んだら、またもとに戻れるよ。だから今日は楽しく水の中で遊ぼうよ」と言うので、

その日はメダカと一緒に思いっきり泳いだり、ダンスをしたりして楽しく過ごすことにした。

★発想の部分が大きいお題。文字数が限られているので、話にオチ おしまい
がなくたってOK。自由な発想を楽しもう。

物語の続きは？

＊この話の続きを考えて書いてみよう。

条件：①あと2人以上、登場人物を増やすこと。

②ハッピーエンドにすること

大事な試験の日、私は大寝坊をしてしまった。大急ぎで支度をしてバスに飛び乗った。

…乗ってから30分後、私は気付いた。乗るバスを間違えたことに。

思わず大声で叫んだ。「間違えた！！」

すると、近くに座っていたおばさんが声をかけてきた。

「もしかして乗るバス間違えたの？大丈夫？」

「はい、〇〇に行きたいのにこのバスに乗っちゃって…」

説明していると、近くに座っていたお兄さんも話しかけてきた。

「次のバス停で降りると駅がすぐ近くにあるから、そこから電車で△△という駅まで行って、そこからバスで〇〇へ行けるよ」

二人はとても丁寧に教えてくれて、私はようやく落ち着くことができた。

そして次のバス停で降りて早足で試験会場へ向かい、なんとかギリギリ試験を受けることができた。

★条件を守った上で無理のないストーリーになっていたらベリーグッド。

ハプニングに対して、他の登場人物がどうかかわっていくかがポイントだね。 おしまい